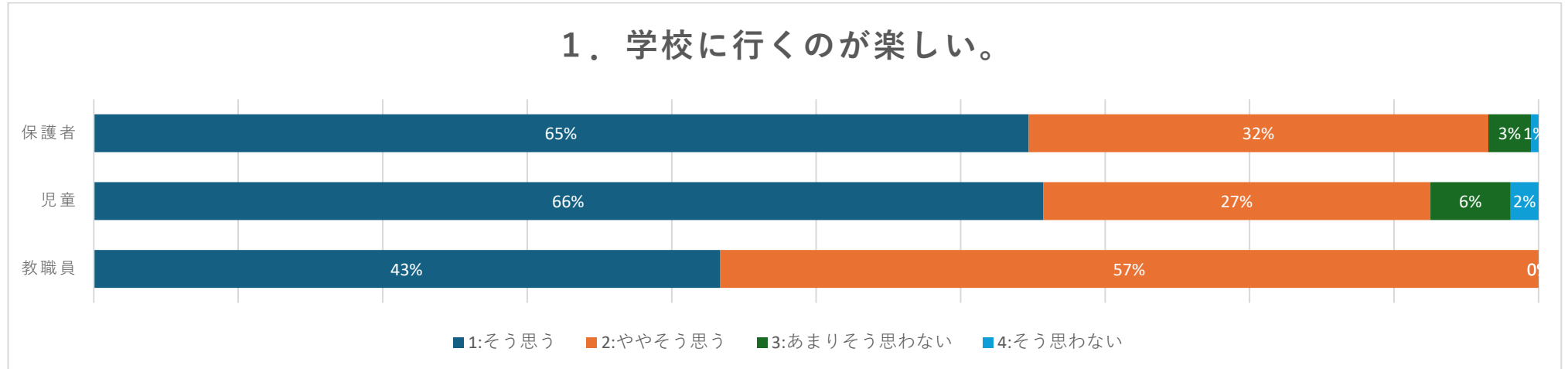


# 令和7年度 南加瀬小学校 学校評価アンケート結果報告

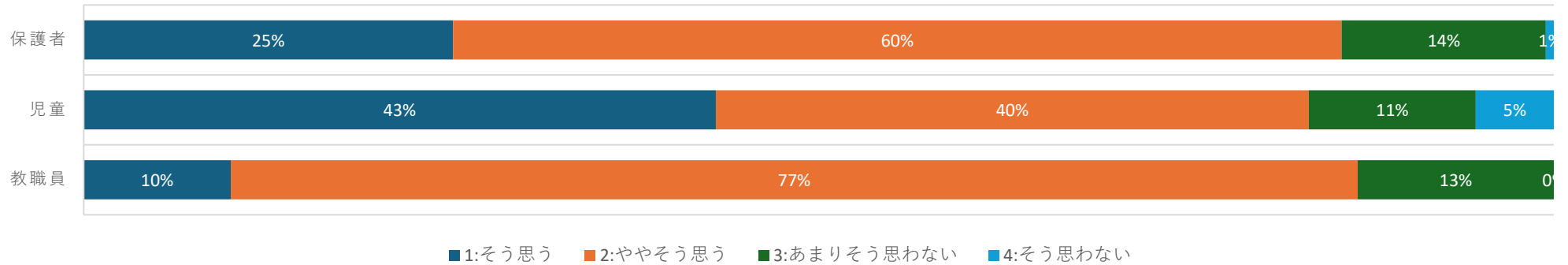
保護者の回答、児童の回答、教職員の回答を比較しながら、成果と課題について分析しました。尚、質問項目につきましては、簡略させていただきました。



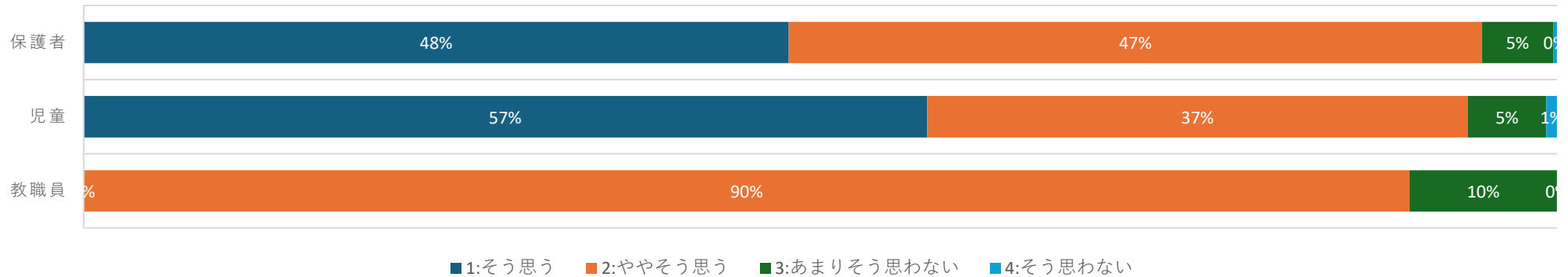
保護者は「そう思う」「ややそう思う」を合わせて97%でした。児童は「そう思う」「ややそう思う」の回答が93%でした。学校には、校庭や図書室など、子供たちが興味関心を持って生活する場所や友達と関わりながら学ぶことができる機会があります。教職員はどのような活動をすれば子供たちが楽しく学校に登校できるか試行錯誤してきたことで、様々な場所を活用し、子供たちが興味関心を持って取り組むことはできる学習活動を進められるようになってきました。その中で、子供たち一人ひとりが興味関心を持って取り組んできた結果だと考えています。また、「そう思わない」「あまりそう思わない」の回答が2~6%あります。この意見も真摯に受け止めていくことが大切だと考えています。

# 思いやりがあり協力できる子

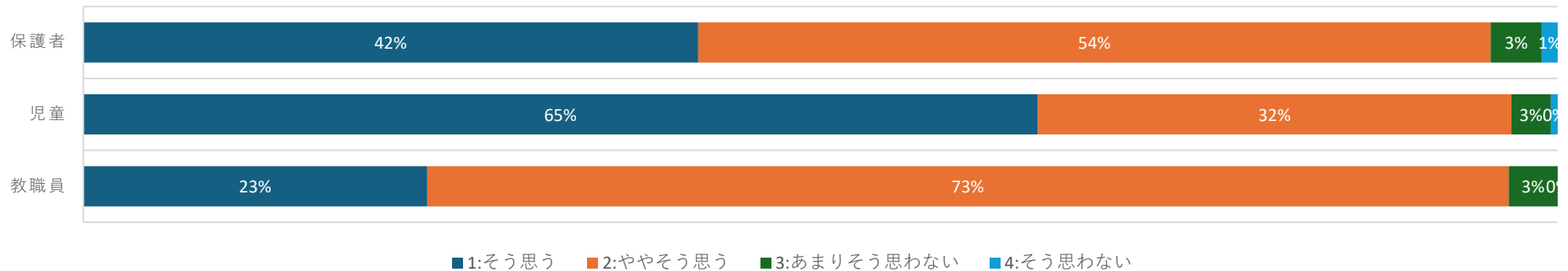
## 2. 自分のいいところに気づいています。



## 3. 学校の約束を守って、行動しています。



#### 4. 友達にやさしくしたり周りの人のことを考えて行動したりしています。



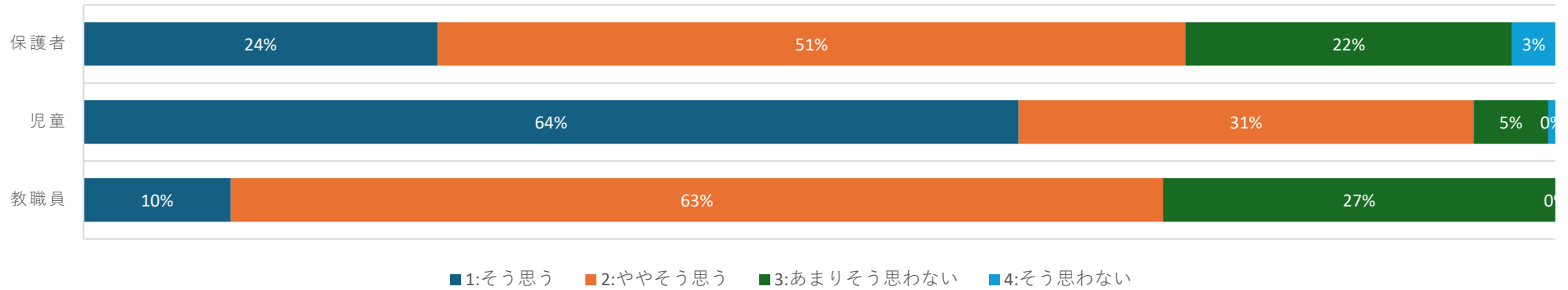
2では、83%の児童が「そう思う」「ややそう思う」と回答しています。授業を通して子供たち同士で互いの良さを伝え合う活動などに取り組んできたからと考えられています。しかし、高学年になるにつれて自分の良さを伝えることに恥ずかしさを感じたり、友達と比べたりしてしまう傾向があります。そのような状況を把握しつつ、教師からも積極的に一人一人のよいところを伝えていきたいと考えています。

3では、保護者・児童・教職員共に「そう思う」「ややそう思う」が多いものの、「かせっこのめあて」が守られていない状況もあります。子供たちがなぜその約束があるのかを理解したうえで、学校と家庭が約束を守ることの大切さをその都度子供たちに伝え、今後も継続して指導していきます。

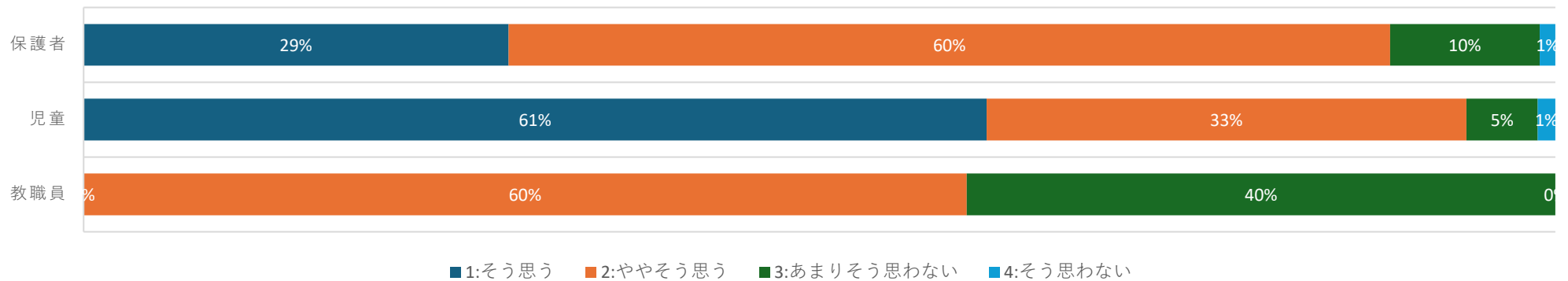
4では、保護者・児童・教職員ともに「そう思う」「ややそう思う」という回答が90%を超え、南加瀬小の児童の素直で優しい側面が現れているように思います。数%「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答があることを踏まえ、今後も特別活動・共生共育プログラム・人権尊重教育などを計画的に実施し、自他共に大切にす態度を育てていきます。

# 進んで学びよく考える子

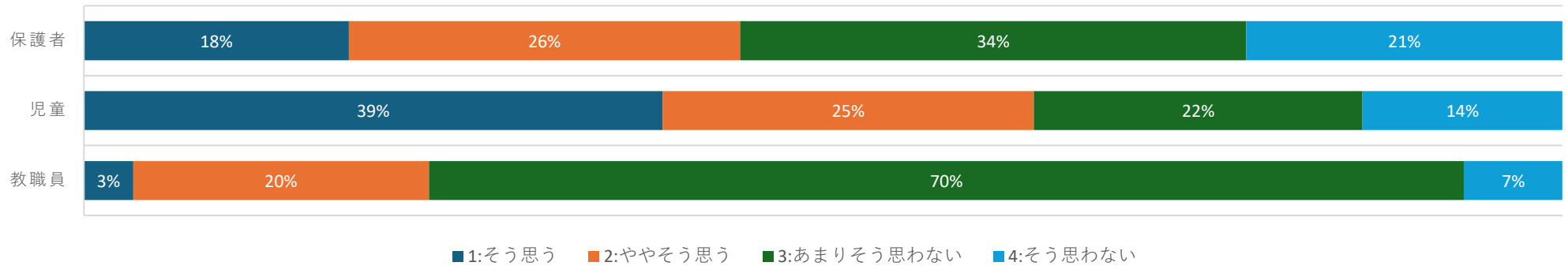
## 5. 進んで学習に取り組んでいます。



## 6. 授業はよくわかります。



## 7. 日頃から本を読んでいます。



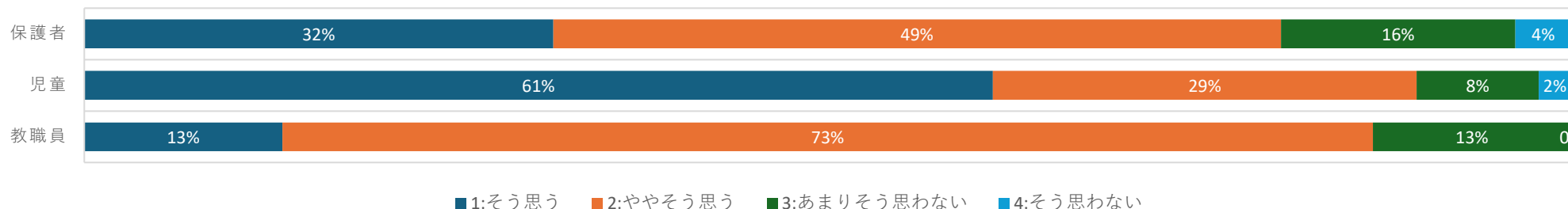
5では、保護者と教職員の「そう思う」「ややそう思う」という回答が約70%でした。児童の「そう思う」「ややそう思う」という回答は、95%でした。この項目では、大人と子供の捉え方に差があると感じています。子供は、与えられた学習に取り組む意欲は高いが、保護者や教職員は与えられた学習だけでなく、さらに進んで取り組むところまで求めていると考えます。子供たちと大人の考えが近づくために、一人一人にあった課題を提示し、さらに意欲的に学習に取り組んでいけるよう指導していきます。

6では、「そう思う」「ややそう思う」が保護者・児童共に90%に近い数値となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」という意見も数%あります。指導や支援の方法について研鑽を積み、児童にできる喜びや分かる楽しさ、集団で学ぶよさを味わわせられるよう、さらなる指導力向上を目指していきます。また、授業参観や個人面談などで学校での学習状況を伝えたり、家庭での児童の様子を聞いたりしながら、よりよい指導を考えていきたいと思えます。

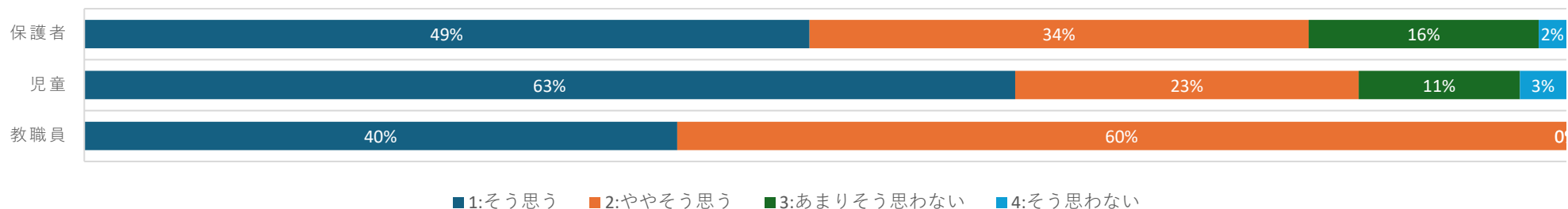
7では、保護者、児童、教職員の「あまりそう思わない」「そう思わない」の回答が高い数値となっています。昨年度もこの項目では、同じような結果でした。この結果を受けて、朝時間に読書タイムを設定したり、昼休みも図書室を開室したり、図書館司書や保護者の力をお借りしたりして、図書室の整備や読み聞かせを行ってきました。その結果、少しずつではありますが児童の数値は改善してきました。今後は、児童が進んで読書活動に取り組んでいけるような環境整備などについて考えていきたいと思えます。

# 何事にもくじけずがんばる子

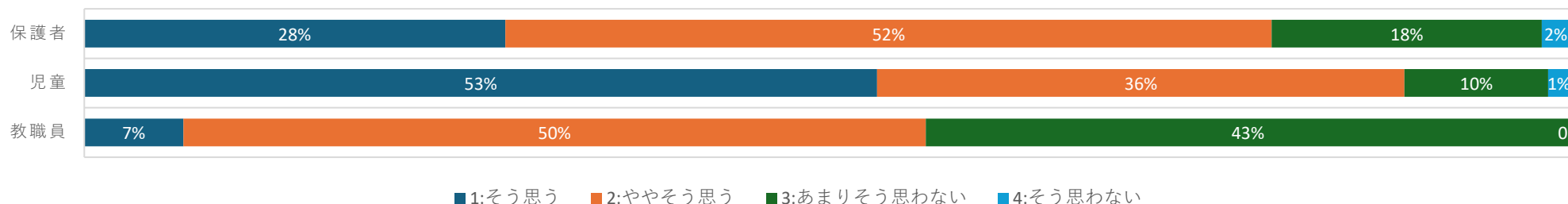
## 8. 自分から進んで返事やあいさつができます。



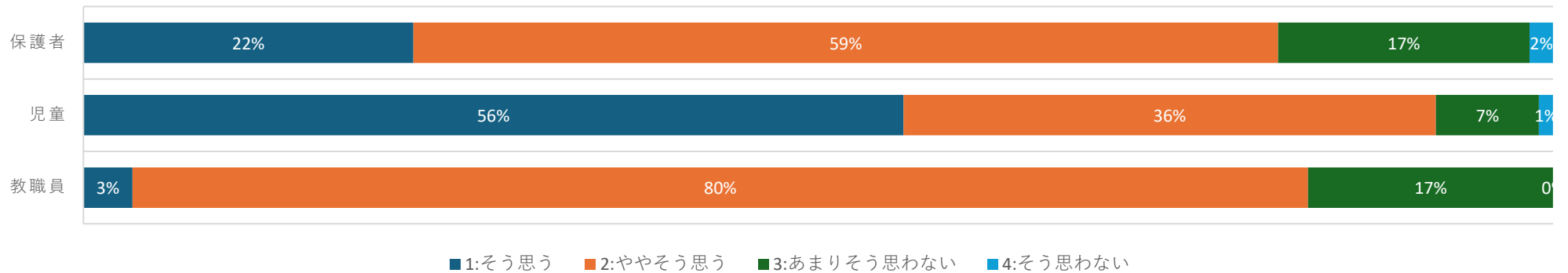
## 9. 元気よく体を動かしています。



## 10. 日頃の生活の中で、自分の健康や安全について意識しています。



## 11. 困ったときや苦手なことにも、最後まであきらめずに取り組んでいます。



8では、90%の児童が「そう思う」「ややそう思う」と回答しています。保護者の81%が「そう思う」「ややそう思う」と回答しています。あいさつ運動などを積極的に行ってきた結果、多くの子供たちが進んであいさつができるようになりました。これからも継続して指導してまいります。

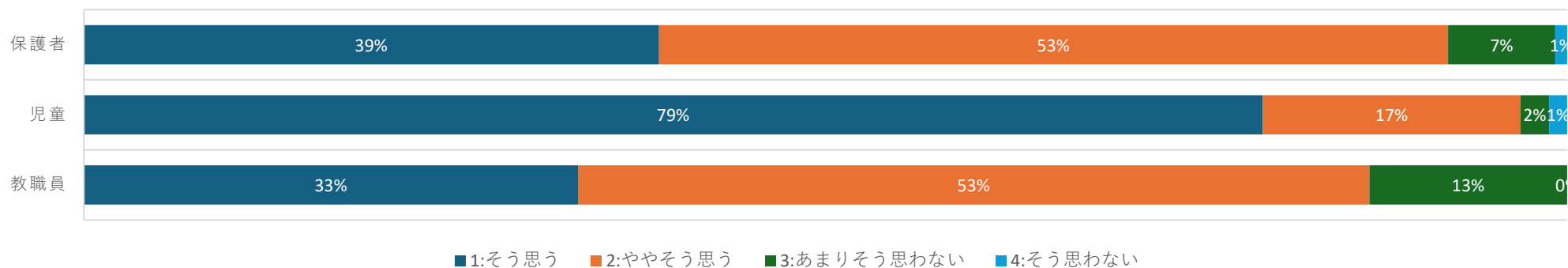
9では、85%以上の子供たちは学校で元気よく体を動かすことができると回答しています。教職員の回答をみても100%が「そう思う」「ややそう思う」の回答です。休み時間になると元気よく校庭で遊ぶ子供たちの姿が毎日見られます。また、委員会が中心となって行っているキラキラタイムや縦割りの活動、放課後校庭プロジェクトなどで体を動かす機会を増やす活動を行ってきたことが結果につながったと考えられます。体を動かすことは、健康な生活を送るうえで大切なことです。今後も児童が校庭で積極的に体を動かす機会を作っていきます。

10では、89%の児童が「そう思う」「ややそう思う」の回答をしています。健康を考える上で、手洗いうがいはもとより、食育の面なども大切な要因であると考えます。給食では栄養士による巡回指導や養護教諭による保健指導など健康についての指導を行っています。各ご家庭でも今年度の重点にもあります、「早寝・早起き・朝ごはん」の推進や健康安全面では多大なるご協力をいただいています。今後も学校と家庭が協力して子供たちの健康的な生活を支えていきたいと思っております。一方で、心のゆとりがなく、怪我をしてしまう児童の姿が見受けられます。少しでも落ち着いて行動ができるよう学校でも呼びかけていきます。

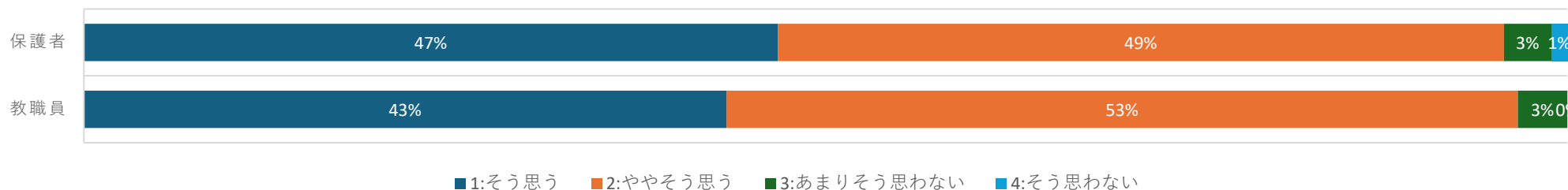
11では、保護者、児童、教職員の「そう思う」「ややそう思う」の回答が80%を超えています。子供たちは学校で係活動や当番、委員会活動など自分の役割をがんばっています。児童の90%が最後まであきらめずに取り組んでいると感じているのは、児童があきらめそうになったときに、教職員やご家庭での支援があり、結果的に「最後まで取り組めた」結果であるとも考えられます。

## 地域で学び、地域で育つ子

### 1 2. 南加瀬の地域が好きです。



### 1 3. 南加瀬小学校は、学校だより、懇談会、学校説明会、ホームページなどで学校の様子を伝えていきます。



1 2では、保護者、児童の「そう思う」「ややそう思う」の回答が90%を超えています。子供たちの様子からも地域を愛していることが伝わります。保護者の皆様はもとより、地域の方々も子供たちを支えてくださっている結果です。今後も子供たちが安心して生活を送れるようお力添えをお願いいたします。

1 3では、「そう思う」「少しそう思う」の保護者の回答が90%を超えています。授業参観や懇談会等では、学校の様子を伝えてきました。今後も子供たちの様子をホームページ等で発信していきたいと思っております。